



11 2022

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jibo@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

☆ 鈴蘭台教会設立40周年記念ミサ (2面) ☆ イエスにならう生き方を求めて (4面) ☆ 司牧者から若者たちにこの一冊 (2面) ☆ 養命膏外郎のちのちの特別許可を求めて (5面) ☆ キリストで読み解く「回勅兄弟の皆さん」 (3面) ☆ カテキズムの学び (5面) ☆ ラジオ「信仰の時間」和越 敏神父 ☆ 生きる一難民移住者 (5面) 広報委員会へのEメールアドレス=jibo@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

病者・障がい者とともに歩むミサ 神の業が現れるために

9月23日(金・祝)、14時から大阪カテドラル聖マリア大聖堂で「病者・障がい者とともに歩むミサ」が酒井俊弘補佐司教の司式でささげられた。昨年に引き続き、今年もコロナ禍の影響により、ライブ配信をしながらの非公開ミサとなった。毎年、事前に小教区に配布される「ともに歩む祈り」を全員で祈ってからミサは始まった。

「病者・障がい者とともに歩むミサ」は当初「世界病者の日」「ルルドの聖母」の記念日である2月11日にささげられていた。しかし、病者・障がい者、また介助者が参加しやすいようにと、2018年からは秋の祝日に日時変更された。主司式の酒井俊弘司教はミサ説教の中で、当日読ま



父神一朗 英隆の司式と酒井俊弘補佐司教の掲げる聖体

「人びとは目が生まれつき見えないことの原因、つまり過去の意味を質問しましたが、イエス様はそれには答えず、未来のこと、目が見えないことがこれから先どのようなことのために役立つのかを話されました。(……)イエス様が言われた『神の業がこの人に現れるため』というのには『神の業であるわたし、救い主キリストがこの人の人生に目に見える形で関わるため』という意味だということでした。そして、実際にそのようになつたのです。救い主として、目が見えない方の目を見えるようにされました。」

共同祈願では、すべての障がい者、吃音者、肢体障がい者、

教区納骨者および死者 祈念ミサ 11月3日(木・祝)11時 司式:酒井俊弘補佐司教 大阪カテドラル 聖マリア大聖堂

動画QRコード



宝塚・仁川教会堅信式 主に仕える喜び

猛暑が続いた8月・9月には宝塚と仁川教会で堅信式が行われた。それぞれの式の様子と祝いと喜びの声を報告する。

宝塚教会

8月15日(日)9時半、宝塚教会で前田万葉大司教司式による聖母の被昇天ミサがおこなわれ、約160人の信徒が見守る中、7人の受聖者が堅信の秘跡を受けた。共同司式は主任司祭のグエン・シン・サック神父がとめた。

ように、私たちも天の国の仕合わせをいただくことができるように、この信仰と平和をあかす宝塚教会であってほしい」と語りかけられた。大司教へのお礼として、ミサの最後には受聖者7人によって「God Bless you」の歌が歌われた。若者たちの美しい歌声が聖堂に響きわたった。

受聖者の声

「私は勉強会で『イエスは預言者であり、王であり、祭司である』と学んだことがとても印象に残りました。今日、私たちがこのキリストの3つの使命にあずかる者となりました。これからも私たちを導いてください。(中学2年生)

仁川教会

仁川教会では9月18日(日)9時から、受聖者17人の堅信式が行われた。主司式は酒井俊弘補佐司教、共同司式は主任司祭の和越敏神父、赤尾満治神父、永尾稔神父、中野里晃祐助祭(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)。参加者は約140人。

受聖者の声

酒井司教は当日の聖書の御言葉(ルカ16・1〜13)から「清貧に生きる」とはどのようなことをかを主題として、「主に仕える」「富に仕える」それぞれの意味を信徒日常の生活に即して分

「ベトナムで堅信を受けるはずでしたが、その時、運悪く体調を崩してチャンスを逸しました。晴れて、ここ日本で聖霊の恵みを受けられることができて、式の際には嬉しさに涙がこぼれてしまいました。(ベトナム人留学生)



主催者の感想

「仁川教会は本年、献堂70周年、現聖堂の献堂30周年の節目を迎え、その記念として4年ぶりに堅信式を挙行することとなりました。穏やかな天候にも恵まれた。厳かな中にも親しみやすい司教様の司式により、豊かな聖霊の恵みに心満たされる気持ちの良い祭儀となりました。」